

The Second Stage at GG #53

光岡幸一展「ぶっちぎりのゼッター120%」

2023年2月7日(火)～3月18日(土) 11:00a.m.～7:00p.m. 日曜・祝日休館 入場無料

主催・会場: ガーディアン・ガーデン 詳細はウェブサイトへ <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

会期中にトークイベントを開催します。詳細が決まり次第、ウェブサイトでご案内します。

ガーディアン・ガーデンでは「The Second Stage at GG」シリーズの53回目として、光岡幸一展「ぶっちぎりのゼッター120%」を開催します。本シリーズは、若手アーティストを応援するガーディアン・ガーデンの公募展入選者の中から、各界で活躍する作家の、その後の活動を伝えるための展覧会です。

光岡はリサーチに基づいたプロジェクトベースの作品を、インスタレーションやパフォーマンス、写真、ドローイングといった手法を使って制作してきました。その中で、身近な友人たちのポートレート作品で第13、14回写真「I_WALL」ファイナリストに選出されました。その後も、プロジェクトに巻き込む人々や物事のスケールを増しながら、個展の開催、グループ展、芸術祭への参加など、精力的に活動を続けています。

撤去されようとしていたホームレスの台車を引き取り、補修し、持ち主へ返す様子をドキュメンテーションした「夢をみない夜」では、社会の中でかき消されそうな事象をすくい上げ、開示してきました。渋谷にある展覧会会場の下に湧いている地下水を会場内に引き込み、写真の上に泥でドローイングを行った「もしもといつも」では、展示空間の特性を引き出しながら、同時に渋谷という街の構造をあらわにしました。本作品は2021年写真新世紀優秀賞を受賞しています。いずれの作品にも独自のユーモアが盛り込まれており、そこからは偶然の出会いと物や場所の特性を面白がり、想像力を働かせることを楽しんでいる様子がうかがえます。

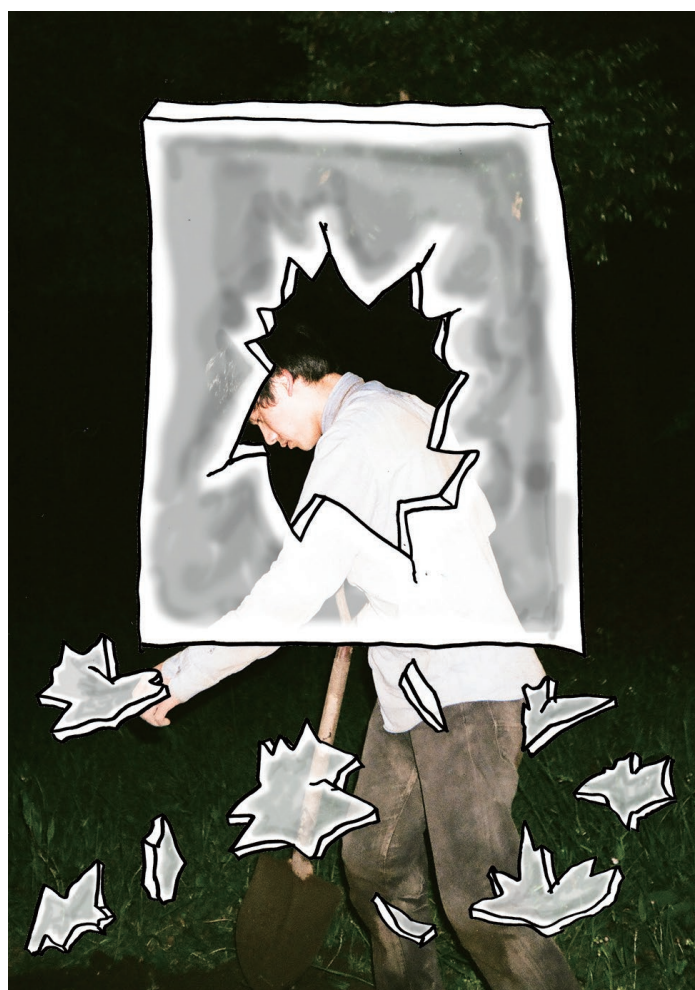
今回のタイトル「ぶっちぎりのゼッター120%」は、光岡がアルバイト先で倉庫整理中に見つけたメモ帳に書かれていた一節から取られています。他者の言葉をタイトルにすることからも、偶然出会う物事や人々との関わりを積極的に作品の中に取り込んできた光岡の制作姿勢が見受けられます。本展覧会ではガーディアン・ガーデンの場所をキーワードに新作インスタレーションを展示します。開館から22年の時間、銀座の地下にあるということを踏まえ、光岡が2023年8月に閉館するガーディアン・ガーデンの空間から立ち上げるものは何か。ぜひ、会場をご覧ください。

ガーディアン・ガーデン

<作家挨拶>

期限切れの紙のクーポンの事が気になっている。最近ほとんど見なくなったが、今でもたまに薬局やラーメン屋のレジで半強制的に渡され、店員の目の前でレシート箱に放り込むのも何となく気が引けてしまいとりあえず持ち帰るのが使ったためしはなく、気が付くと財布の奥底でひっそりと期限を切らしている。そうなるといよいよ機能を失った紙屑になってしまい捨てるしかなく、そうさせてしまった自分は、いつもクーポンに対して少し申し訳ない気持ちになるのだ(かといっていざレジではその存在を忘れるのだが)。そこでクーポンと何かできないか考えた。とりあえず家中の紙クーポンをかき集めたところ、期限が2年過ぎた長老クーポンに出会った。そこからそのクーポンとの協働が始まったのだ。自分はいつもこんな感じで気になったモノと、自分なりの関わり方を探っていくうちに、たまにそれが作品になったりもしている。その相手は人であったり、植物や風や石、あとは歴史や風景などいろいろだ。そして今回の展示にこのクーポンは関係ないのであしからず。

光岡幸一



広報用画像一覧



「夢をみない夜」(2013)



「もしもいつも」(2021、原宿 block house / 企画 吉田山)



「あっちとこっち」(2019、外苑前FL田SH/企画 FL田SH)



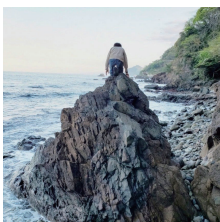
「えらばなかった道」(2021、熱海 ホテルニューアカオ)



「通達」(2021、東京 隅田公園)



「出口はつくれる」(2018、奈良 奈良県立大学)



光岡幸一 Koichi Mitsuoka

名前は、字が全て左右対称になるようにと祖父がつけてくれて、読みは母が考えてくれた。(ゆきかずになる可能性もあった。)宇多田ヒカルのPVを作りたいという、ただその一心で美大を目指し、唯一受かった建築科に入学し、いろいろあって今は美術家を名乗っている。矢野顕子が歌うみたいに、ランジャタイが漫才をするみたいに、自分も何かを作っていきたい。一番最初に縄文土器をつかった人はどんな人だったんだろうか？

主な個展に2019年「あっちとこっち」(外苑前FL田SH/企画 FL田SH)、2021年「もしもいつも」(原宿 block house / 企画 吉田山)。2021年写真新世紀優秀賞(横田大輔 選)、広島市現代美術館企画「どこ×デザ」蔵屋美香賞受賞。

入口での体温測定、手指消毒、マスクの着用、ご来場者同士の社会的距離2mの確保にご協力をお願いいたします。37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛、全身倦怠感などの症状がある方は来場をお控えください。

取材や広報用画像をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
 株式会社リクルートホールディングス リクルートクリエイティブセンター ガーディアン・ガーデン
 担当：山越梓 (a.yamakoshi@r.recruit.co.jp)
 〒104-8227 東京都中央区銀座 7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル B1F
 TEL.080-8028-2463 <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

Twitter | @guardiangarden
 Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo
 Instagram | guardian_garden